

本時のねらい

- 現代風の物語に作り替えた作品の交流をもとに、昔に詠まれた和歌の魅力について考える。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- iPad上で作品を作成することで、写真や文章を自由に組み合わせ思い通りの表現を実現することができる。
- 授業支援ソフト（SKYMENU Cloud）の発表ノートと大型モニタを用いた和歌についての発表を聞き、意見交流することで和歌の魅力について理解を深める。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- 授業支援ソフト（SKYMENU Cloud）
- 大型モニタ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習活動の確認 「和歌が詠まれた背景を想像し、情景や心情を読み取り、現代風の物語に作り替えた作品を作ろう」 生徒が個々に発表ノートで作成している作品を仕上げ提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品は、発表ノートに写真と文章を掲載する形で作成する。生徒は和歌にふさわしいと思う場面をiPadで撮影し、作品に反映させる。 発表ノートで作成すると、推敲・修正が容易であり、どんどん考えを進めることができる。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> 作品を班で読み合い、感想やアドバイスを交流することで互いの作品の魅力をさらに深める。【写真1】 発表ノートで提出されている他の生徒の作品を、iPadを使って鑑賞する。【写真2】 大型モニタに作品を投影しながら班ごとに発表する。発表の後で、作品のどこが印象に残ったのかを意見交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 話合いのポイントを大型モニタに表示して、いつでも確認できる状態にしておく。 生徒それぞれが発表ノートで提出されている作品を自由に閲覧できるように設定しておく。 生徒の作品を大型モニタに映し、クラス全体で共有する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> すべての発表後に、印象深い作品はなぜ印象深いかを全体で意見交流する。【写真3】 発表を通して考えた印象深い理由をもとに、昔に詠まれた和歌の魅力について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 共有された作品やクラスメイトの発表からさまざまな意見を比較して交流することで考えを深める。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：iPad上の作品を班で読み合い、感想やアドバイスを交流している様子

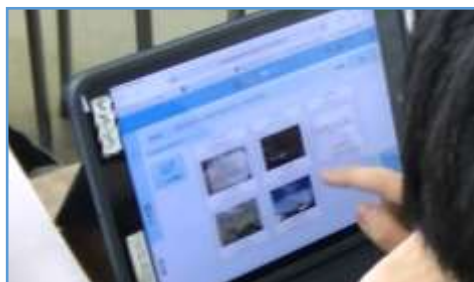


写真2：発表ノートで提出されている全員の作品を、iPadで鑑賞している様子



写真3：すべての発表後に、印象深い作品の理由を交流している様子

児童生徒の反応や変容

- 生徒自身が考えた写真と文章を載せてiPad上で自由に表現できる課題なので意欲的に取り組むことができ、その取組みの中で和歌に込められている作者の意図や工夫に気づき、和歌への興味関心が高まった。
- 大型モニタに投影された発表を聞き、共有された発表ノートを自由に閲覧することを通し、自分以外の多くの作品に触れることができた。こうした活動を通して和歌の魅力を深く考えることができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 話合いのポイントを大型モニタに表示していつでも確認できる状態にしたので、共有されている作品をiPadで確認しながら話合いを活性化させることができた。
- 現代風の物語に作り替えた作品を完成させ意見を交流する活動を通して、いかに和歌の世界を相手に分かりやすく伝えるかという意識を持つことができたので、古典が苦手な生徒も意欲的に取り組むことができた。